

企画総務消防常任委員会

1 10月30日(月) 静岡県伊豆の国市 「移動式期日前投票所について」



伊豆の国市では、投票所の統廃合に伴って廃止された投票区の有権者への代替策として移動式期日前投票所を開設しております。事前に地元と協議のうえ開設の告知を行い、開設時間90分で合計3か所開設されますが、「明るい選挙推進協議会」という組織が平常時から選挙啓蒙活動を行うとともに、移動式期日前投票所での立会人を兼任しているとのことでした。
本市においては、各種選挙の投票率が低下し、期日前投票所の臨時設置も実施しているが、さらなる改善が望まれます。

2 10月31日(火) 東京都板橋区 「脱炭素社会の実現に向けた取組のうち庁内での取組について」

板橋区は全ての区民・事業者と共に脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現を目指すため、庁内でも率先して温室効果ガス削減活動を推進しておられました。
5つの柱を掲げられ区民にありたい姿を明確にし、わかりやすく庁内での取組を推進されていました。
既存公共施設の改修時のZEB(※)化や公用車の電気自動車、燃料電池自動車への置き換えは予算も必要であり当市として即今、取り組むことは厳しいですが、給水スポットの設置およびマイボトル運動の推進等は彦根市においても検討、導入の余地があるのではないかと考えます。



※ZEB（ゼブ）とは、省エネ対策により一次エネルギー消費量を削減した上で、再生可能エネルギー等の導入により、エネルギー収支をゼロにすることを目指した建築物のことです。

3 11月1日(水) 神奈川県秦野市 「秦野市総合防災システムについて」



秦野市総合防災情報システムでは、市民が主体的な避難行動を取る判断材料とするため、災害時の被害情報や避難所の混雑状況、道路の通行止めなどの情報をパソコンやスマートフォンから確認できます。
システムを有効に活用するための市民への出前講座を実施したり、職員が現場からリアルタイムの情報を発信できるように職員向けの操作研修を継続して実施するなど全庁的に「市民の安心を担保し安全を守る」という気概は素晴らしいものでした。

市議会では、議案などを専門的、能率的に審査するため、企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会を設けており、24人の議員全員がいずれかの委員会の委員に選任されています。
各委員会では、効果的な審査が実施できるよう、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる他の自治体を訪問し、調査研究を行っています。

市民産業建設常任委員会

1 10月30日(月) 福岡県福岡市 「市民農園事業について」

福岡市内には26か所（市開設は3か所・民間開設は23か所）の市民農園があります。2007年度から農業体験や食育等の関心が高まり、市内の農地を市民農園として開設するための支援を始められました。生ごみの堆肥化に伴う家庭ごみ減量や耕作放棄地化の防止等多くの効果をもたらしていました。本市とはまちの規模や環境は大きく違うが、農・食に対する市民の思いは共通していました。視察を通して、行政と市民が民間、JAなど専門分野との協働の取組を行い、耕作放棄地になる前の地域環境を守る取組をすぐに始めるべきだと感じました。



2 10月31日(火) 福岡県豊前市 「空き家対策事業および老朽危険家屋等除去促進事業について」



豊前市では空き家の有効活用や危険家屋等の除去に向けての取組を強化されています。取組の一つ、空き家バンク制度では市が直営で空き家所有者と空き家賃貸・購入希望者の連絡調整を行っておられます。また、老朽危険家屋等除去促進事業として老朽危険家屋の解体費用の一部助成と老朽危険家屋解体後の土地の固定資産税の減免を実施されています。空き家や空き地が増加すれば地域としての魅力や価値を低下させる原因になります。そうならないためにも、行政として土地所有者等に積極的に働きかけを行い、土地所有者と賃貸・購入希望者の調整をすることが求められており、本視察は、新たな街づくりや地域づくりのヒントとなりました。

3 11月1日(水) 福岡県北九州市 「北九州フィルム・コミッション事業について」

北九州市は、まちのイメージアップのためフィルム・コミッション組織を立ち上げられました。北九州フィルム・コミッション事務局では作品や撮影をただ待ってお手伝いをするだけでなく、事前の誘致合戦を勝ち抜くために情報を早く仕入れ、ロケ地を提案され約680作品もの撮影支援をされています。撮影を通じて経済波及効果だけでなく、歴史や文化も含めたさらなる資源の発掘や、映像を通じて故郷の良さを再認識でき、シビックプライド(※)の醸成に繋がっているとのことでありました。



※シビックプライドとは、「地域への誇りと愛着」を表す言葉です。

滋賀大学が実施する講義「哲学対話」と連携し、 新たな形での「議会報告会」を実施しました

彦根市議会では、市政に関する情報を提供するとともに、多様な意見を把握することを目的に定期的に『議会報告会』を開催しております。

今年度は「国立大学法人滋賀大学と彦根市議会との連携・協力に関する協定書」に基づき、国立大学法人滋賀大学が実施する講義「哲学対話」と連携し、参加者と意見交換（哲学対話）という新たな形で議会報告会を実施しました。



第44回に参加した学生の感想

政治家の推しについての意見は、「作れば良い」というものと、「政治に推しを持ち込むのはいかがなものか」というものがありました。私は後者の意見に賛同しましたが、推しを持つことが興味を持つ足がかりになることもあると感じました。



第44回
令和5年12月 1日(金)

テーマ：「自分が"選ぶ"とはどういうこと？」

第45回
令和5年12月22日(金)

テーマ：「みんなの幸せと自分の幸せ」

第46回
令和6年 1月19日(金)

テーマ：「私たちはどう生きるか」

次の定例会は
2月26日開会です

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。
本会議・委員会の傍聴の仕方

- ① 議会事務局（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ② 傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③ お帰りの際、アンケートにご協力ください。

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月26日（月）	開 会	9：00
3月 4日（月）	個人質問	9：00
3月 5日（火）		
3月 6日（水）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月 8日（金）		
3月11日（月）		
3月13日（水）	企画総務消防常任委員会	9：30
3月14日（木）		
3月15日（金）	福祉病院教育常任委員会	9：30
3月18日（月）	市民産業建設常任委員会	9：30
3月19日（火）	本 会 議	13：00
3月25日（月）	閉 会	9：00